

れますが、鳥取市としても、中心市街地活性化の交流拠点「まちの交流広場」の早期完成に向けて積極的に取り組んでいきます。

整備計画の考え方

まちの交流広場「やよいFLAP」へFLAP：羽ばたくは、「人々が集い交流できる空間づくりを行うにぎわい創出の場」となることを目的としています。

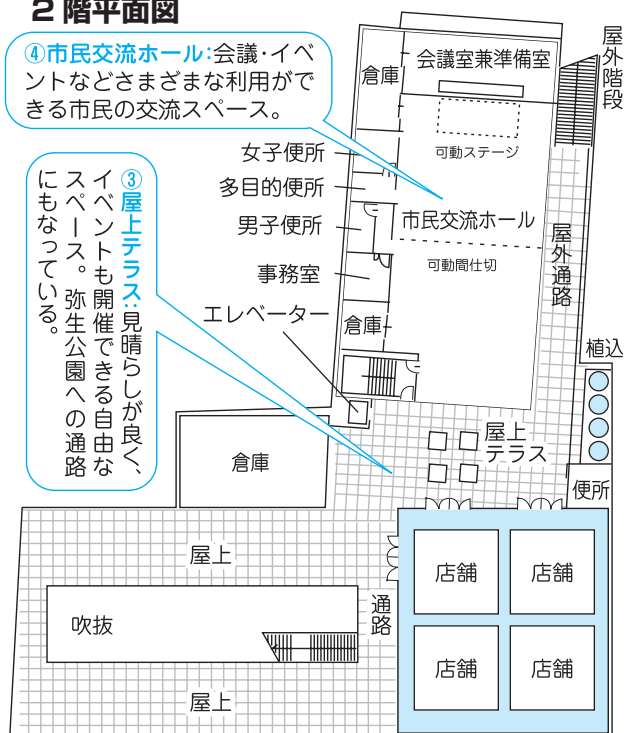
この施設には、地産地消の飲食店、さまざまなイベントが行われる「市民交流ホール」などを整備し、「人との交流の機会」、「くつろぎの場」を提供します。ここに集まる人々の「にぎわい」が半屋外空間の二階から外に広がり、周りの人々を引き込む集客力となります。また、通り抜け可能な通路が、周辺施設への回遊ルートを生み出します。

これにより、人・物・情報が集まるにぎわいのある新たな広域交流拠点となり、中心市街地全体の活性化につながっていきます。

2階平面図

④市民交流ホール：会議・イベントなどさまざまな利用ができる市民の交流スペース。

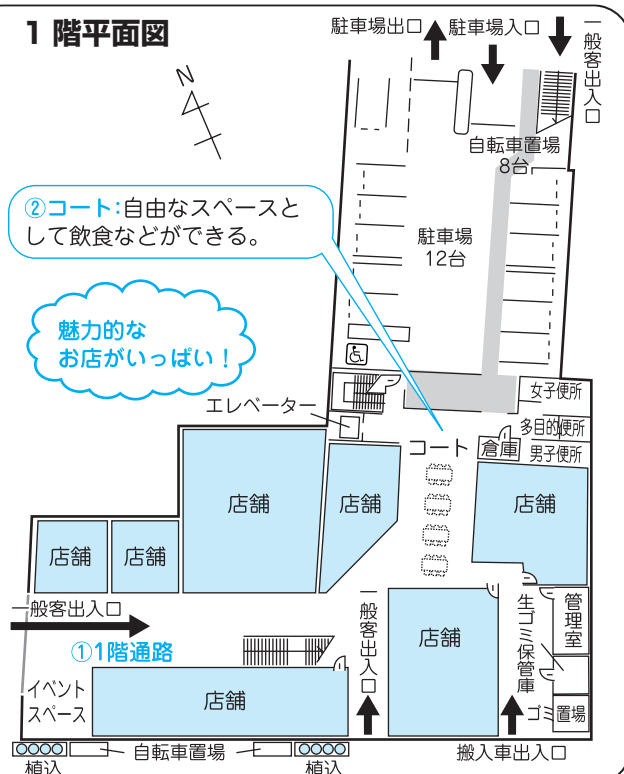
③屋上テラス：見晴らしが良く、イベントも開催できる自由なスペース。弥生公園への通路にもなっている。



1階平面図

②コート：自由なスペースとして飲食などができる。

魅力的なお店がいっぱい！



施設の概要

◆交流

①1階通路 大屋根の下の開放的な半屋外空間で、屋上テラスからの「見る・見られる」の関係により、にぎわいをつくります。

②コート 店舗に囲まれた屋内空間で、販売・飲食スペースとしても利用しながら、にぎわいをつくります。

③屋上テラス 弥生公園への通り抜け通路となり、各種イベントも行われます。

④市民交流ホール コンサート・各種イベント・講演会・市民団体での利用など多目的に使用（一五〇人収容）でき、外部建具の開放により、屋上テラス・屋外通路・コートの一体利用ができます。

◆商業

地場産品を中心とした「生鮮四品」（青果、水産物、食肉、惣菜）を充実し、集客力や来店の回数を高めます。

飲食店ではゆっくり味わえるくつろぎ空間を提供します。

◆駐車場

出口精算システムによる駐

車場管理（十二台収容）とし、周辺駐車場の利活用により駐車台数を確保します。

◆その他の特徴

○配置計画 敷地南側は商業ゾーン、北側一階は駐車場、北側二階は市民交流ホールと、機能による明快な区分けをします。

○色彩計画 砂丘をイメージさせる外壁、茶系中心の優しい色合いの中に、にぎやかさを演出する色使いをします。

○地域性 雨や雪の多い気候を考慮した設計とし、県産木材や和紙製品を活用します。

○バリアフリー化 誰もが利用しやすいように、床の段差解消、車いすの人などが利用できる多目的便所、身障者用駐車場、エレベーター設置、案内表示の充実などをします。

※弥生にぎわい拠点整備計画の詳細は、鳥取市ホームページに掲載しています。

問い合わせ先

中心市街地活性化推進
チーム（☎20-3167・
FAX21-1594・
eメール sigaisei@city.
tottori.tottori.jp）